

報道関係各位

平成25年 4月25日

株式会社 クロス・マーケティング(東証マザーズ3629)
株式会社リサーチ・アンド・ディベロブメント

多方面から情報収集、計画的にショッピング

旺盛な消費マインドを持ちつつ、購買行動は極めて堅実なインドネシア中間層

—「インドネシア2大都市・中間層の正体を探る」調査シリーズ②: 中間層のライフスタイルと消費意識・態度—

株式会社クロス・マーケティング(所在地: 東京都中央区、代表取締役社長: 五十嵐幹 以下、クロス・マーケティング)と、株式会社リサーチ・アンド・ディベロブメント(所在地: 東京都中央区、代表取締役: 桑田瑞松 以下、R&D)は、2013年3月にインドネシアの2大都市(ジャカルタ/スラバヤ)で20~49歳の中間層世帯男女(世帯月間支出: 200万~350万ルピア未満)を対象に、共同で調査を実施いたしました。

■調査背景・目的

アセアン諸国の中でも、約2.4億人という人口を抱えるインドネシアは、現在、多くの日本企業から注目を集めています。今回の調査では、インドネシアという「国」単位ではなく、大都市に住む「中間層生活者」にスポットを当て、個人の生活価値観や生活意識、買い物行動などに関する調査結果から、「性・年齢別」「都市別」にその実態を明らかにしました。

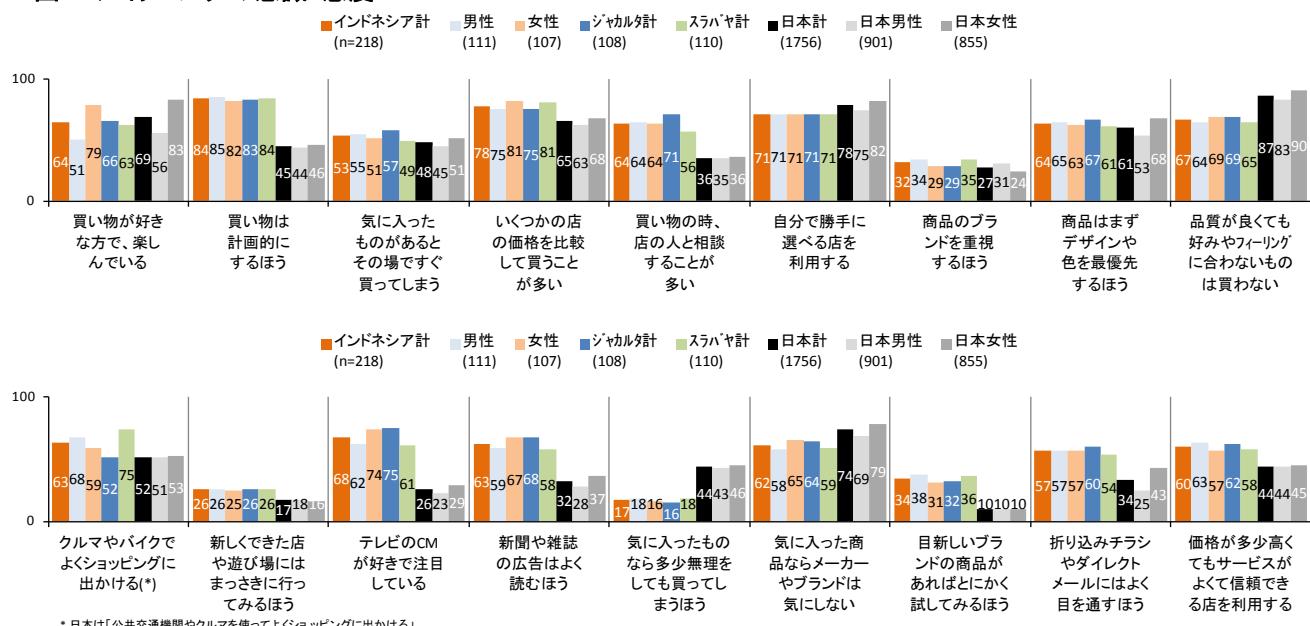
※一部の調査内容は、R&Dが毎年10月に首都圏で実施している『CORE』調査を基に、日本の同年齢層との比較を試みました。

■調査結果

- ✓ ショッピング意識・態度において、インドネシアの中間層はテレビCM、新聞・雑誌広告、チラシ・DMなど様々な広告に敏感である一方で、店員によく相談し、買物は計画的にするなど、堅実な行動をとる傾向が高い。
「買物が好きで楽しんでいる」割合は日本と同様に、女性が顕著に高くなっている。<図1>
- ✓ 店舗の選択では「価格が安いこと」が最も重視されており、「品揃えの豊富さ」に対する重視度はそれほど高くない。<図2>
- ✓ 買物の参考情報源として、テレビCMやインターネット上の情報を重視する傾向が日本よりも高い。その一方で、友人・家族の話や意見といった“身近な人からのクチコミ”的な情報の重視度も高い点が特徴的。<図3>
- ✓ 食事の際「カロリーの取り過ぎに注意している」という回答が日本と比べて高く、性・年代別に見ると、特に40代男性や30~40代女性において高い割合となっている。<図4>

◆自主調査レポートの続きはこちらへ⇒ <http://www.cross-m.co.jp/report/indonesia20130425/>

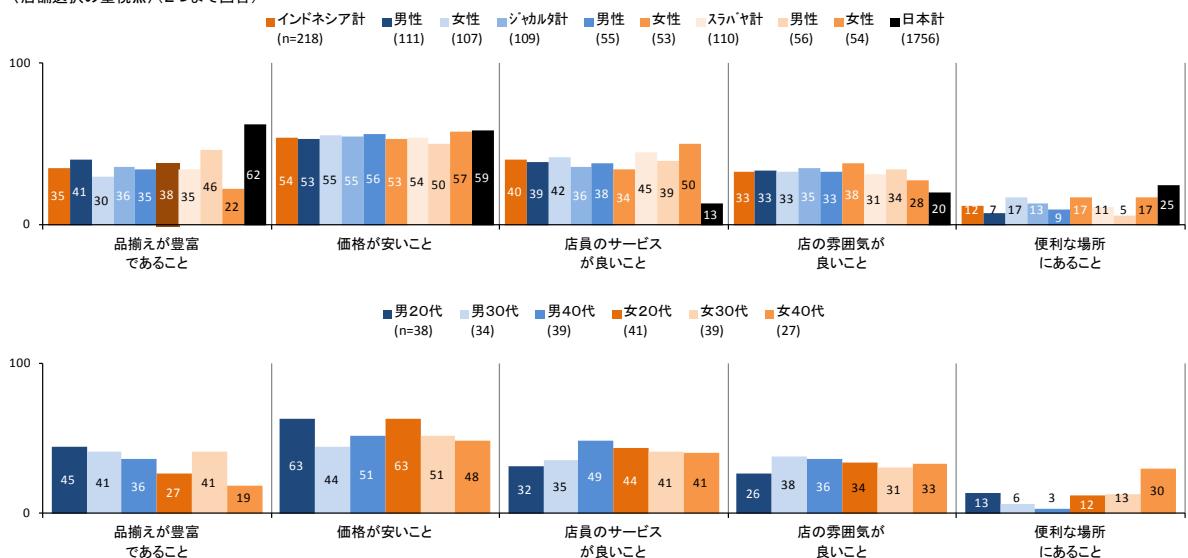
<図1> ショッピングの意識・態度



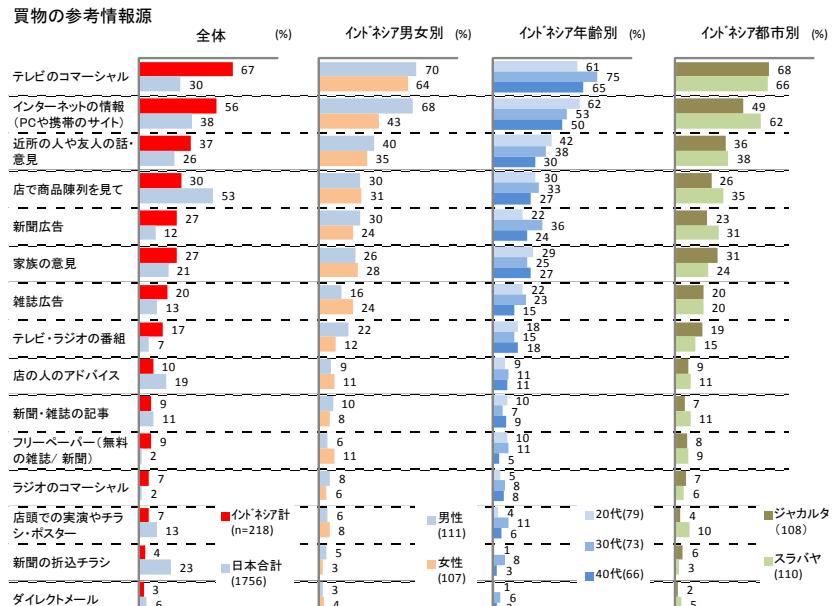
* 日本は「公共交通機関やクルマを使ってよくショッピングに出かける」

〈図2〉 店舗選択の重視点

〈店舗選択の重視点〉(2つまで回答)

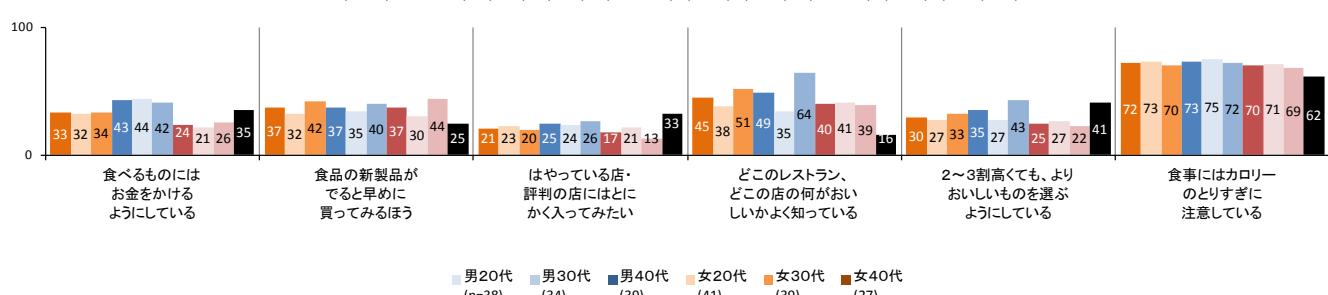


〈図3〉 買物時の参考情報源



〈図4〉 食生活分野の意識・態度

インドネシア計 (n=218) 男性 (111) 女性 (107) ジャカルタ計 (109) 男性 (55) 女性 (53) スラバヤ計 (110) 男性 (56) 女性 (54) 日本計 (1756)



■調査概要

調査手法：“街頭リクルートによる1対1の面接調査”を実施

調査対象：インドネシア2都市（ジャカルタ/スラバヤ）20～49歳の中間層男女（世帯月間支出額：200万～350万ルピア未満）

各都市約110名

調査期間：2013年3月2日（土）～2013年3月3日（日）

有効回答サンプル数：218サンプル

※一部の調査内容はR&Dが毎年10月に首都40km圏で留置法で実施している『CORE』調査を基に、日本での調査結果と比較した。

クロス・マーケティングとR&Dでは、今後「インドネシア2大都市・中間層の正体を探る」調査として、三本立てシリーズで順次発表してまいります。

シリーズ①：インドネシア中間層の価値観・生活者マインド（2013/4/16 ご案内済み）

シリーズ②：インドネシア中間層のライフスタイルと消費意識・態度（今回）

シリーズ③：インドネシア中間層のIT機器の普及・利用状況と主要耐久財の保有・購入意向

■会社概要■

会社名：株式会社クロス・マーケティング（東証マザーズ：3629）

所在地：〒104-0061 東京都中央区銀座8丁目15番2号

代表者：代表取締役社長 五十嵐 幹

資本金：274,400千円

設立：2003年4月1日

URL: <http://www.cross-m.co.jp/>

事業内容：リサーチ事業、ITソリューション事業

会社名：株式会社リサーチ・アンド・ディベロプメント

所在地：〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町1丁目4番10号

代表者：代表取締役 桑田 瑞松

資本金：30,000千円

設立：1968年1月17日

URL: <http://www.rad.co.jp>

事業内容：マーケティング・リサーチの企画設計、実施及びコンサルテーション

経営・マーケティング活動の評価及びコンサルテーション

■本資料に関するお問い合わせ先■

株式会社クロス・マーケティング 広報担当 大島

TEL:03-3549-0328 e-mail:pr-cm@cross-m.co.jp

株式会社リサーチ・アンド・ディベロプメント 販促担当 小林

TEL:03-5642-7711(代表) e-mail:radnews@rad.co.jp

«引用・転載時のクレジット表記のお願い»

本リリースの引用・転載時には、必ず当社クレジットを明記いただけますようお願い申し上げます。

＜例＞「クロス・マーケティングとリサーチ・アンド・ディベロプメントが実施した調査によると…」